

平成28年1月21日

平成27年度 学校関係者評価書

南アルプス市立落合小学校

○ 第2回学校関係者評価委員会の経過

1 日時 平成28年1月21日(木) 午後6時00分～7時30分

2 出席者 学校教育支援者

区長会長	佐野 透	主任児童委員	深澤 敏弘
P T A会長	仲澤 美穂	P T A副会長	望月 貞二
すももの里応援団	萩原 智子	学校長	志村 雄二
教頭	新津 友子	教務主任	河野 瑞穂

3 提案内容

- (1) 学校運営の方針
- (2) 児童の様子
- (3) 学校評価結果を活かした3学期学校運営及び来年度の学校運営

4 協議内容

(1) 学校評価全体について

- ・ 職員, 児童, 保護者ともに肯定的な回答が多く, 総合的に見て良好である。特に保護者アンケートにおいて1回目より良い評価となっている項目が多くなっており, 教職員が課題を共通理解し, 意欲的に取り組んでいることがわかるアンケート結果である。落合小の教職員も保護者も子どもたちもとてもよくなっていると感じている, 今後ともより充実した教育活動を展開して行ってほしい。
- ・ 子どもたち一人一人の課題をしっかりと把握し, 子どもにも課題や目標がわかり, 成果が実感できるように全職員で教育活動に取り組んでいることがわかる。漢字チャレンジや家読, 生活指導や給食の取組など, 全学年での取組については, 課題や取組理由, 内容, 目標などを全校集会で話す機会を設け, 教職員だけでなく子どもたちとも心をつなげて実施していると聞いている。今後とも児童に寄り添い, 確かな人間形成ができる教育活動を進めてほしい。

(2) 学習面について

考える力を育てたい

- ・ 児童アンケート結果から, 子どもは「もっと授業中に発言をしたい」と考えているのがわかる。それには「考える力」を付けることが大事だと思う。学校でも考える力を付けるために, 教材や課題, 学習の仕方などを更に工夫しているようだが, 家庭でも学校でも今は先回りをしてしまう大人が多いのではないかと思う。一見, 子どもの心や考えを優先しているような言葉かけはするが, 時間をとって聞くことはほとんど無く, 子どもは大人の言葉に丸め込まれるように納得させられてしまっているのではないか。そういうことが, 子どもの考える力が育つのを阻んでいるかもしれない。学校でも家庭でも, そういう事を意識して改善していくことが大事だと考える。大事にされているのに満たされない子どもたちの心にも寄り添う必要がある。

- ・ 「違うのもいいね。同じのもいいね。」
それぞれの家にもこだわりが無くなっているように思う。「みんな持ってるから買ってよ。」と言われたとき、「いや、うちは買わないよ。」と言わない、言えない家が多いのではないかと。落合小児童会で取り組んでいる「得意なものの発表会」はとてもいいと思う。見るのもエントリーするのも自由ということだが、演技をする子も見ている子も精一杯表現し、心からの拍手ができていく様子が想像でき、とてもいいと思った。違うのも同じのもしっかり感じ理解しようとする心・考えの中に考える力のもとが潜んでいると思う。そういう事を小さい時から大事にしていきたい。保護者にも伝えていきたい。
- ・ 認めて伸ばす
大人社会の反映として、何となく夢が持てなかったり、素直な心で生きられなかったりするのではないかと。「認めて伸ばす！！」そのことがとても大切なことだと思う。落合小では、一人一人の子どもに寄り添い、すべての子どもが課題をクリアすることができるように全職員で取り組んでいると聞いている。様々な支援に囲まれながら課題がクリアできたとき、自己肯定感がうまれるだけでなく、人に対する考えも何かしら培われていくと思う。認められて伸びていく子どもにすることが人としての学び、考える力の育成に与える力は大きいと思うので、是非そういう環境をつくってほしい。

(3) 生活面について

気持ちがさみしい子がいるのではないかと

- ・ 学習面でもあったが、今の子どもは「大事にされているのに満たされていない」という子どもが少なからずいると思う。子どもは聞いてほしいと思っているが、はたして時間をとって話を聞いているだろうか。大人の期待に応えようとするのが子どもなので、大人の事情を子どもに話せば、子どもは我慢して自分の心を満たさないまま過ごすこともある。それが積み重なることは子どもの健やかな成長にとっては良いとは言えないと思う。学校というより家庭での生活に関わることなので、落合小で実施している家庭を巻き込んだ取組や学習会などを今後してほしいし、そういう視点で他の取組も考えてほしい。

(4) 携帯・スマホ、自転車乗車時のヘルメット着用について

- ・ ヘルメットの着用は100%にしたい。
- ・ 携帯やスマホについては、フィルタリングをしていない児童が29人もいることを心配している。児童と保護者を対象にした学習会等を実施しているということだが、将来の安心・安全にもつながる学習をさせてほしい。

(5) 課題と改善策のまとめ

学校の取組や今後の改善策等にご理解をいただきながら、「子どもを丸ごと育てる」という視点でたくさんのご示唆をいただきました。その中には、「私たちも応援しているよ」「地域も貢献したいよ」という気持ちがあふれており、実際たくさんのご支援をいただくことができています。自己評価書に明記した改善策やいただいたご示唆に基づき、大切な子どもたちがますます「こころ豊かで たくましく よく学ぶ子ども」に育つように、努めることを明記しまとめとします。